

新部門・新コースで開催  
第44回函南町駅伝大会



▲タスキをつなぐ選手

2月9日、NPO 法人函南町体育協会主催による第44回函南町駅伝大会が開催されました。

今回大会から柏谷公園をスタートし、畑毛や柏谷、仁田などをとおし、文化センターをゴールとする町内6区間11.2kmにコースを変更しました。

また、新たに小学生部門がつくられ一般の部30チーム、中学生男子の部2チーム、中学生女子の部3チーム、小学生男子の部9チーム、小学生女子の部4チームの計48チームが参加しました。

天候にも恵まれ全チームがゴールまでタスキをつなぎ、選手たちの力強い走りに沿道からはたくさんの声援が送られました。

497人が力走  
第44回函南町マラソン大会



▲勢いよくスタートする選手

1月19日、柏谷公園周辺でNPO 法人函南町体育協会主催による第44回函南町マラソン大会が行われました。

同マラソン大会は、柏谷公園の周辺に各部門1km～5kmのコースが設定され、小学生の部～45歳以上の部までの12部門に合計497人（男324人、女173人）が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、沿道からの熱い声援を聞きながら、選手ひとりひとりが自分の持てる力を発揮し力強い走りをしました。

函南町消防団  
水防功労者国土交通大臣表彰を受賞

2月14日、函南町消防団が令和元年度「水防功労者国土交通大臣表彰」を受賞したことを仁科町長に報告しました。

同消防団は令和元年東日本台風の際、河川などの警戒巡視とともに、排水活動や住民の避難誘導、人命救助などの活動を3日間行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をしたと認められ、同表彰を受賞しました。

同表彰は令和元年東日本台風などで貢献のあった44団体などが受賞し、県内の団体では函南町消防団が唯一の受賞です。



▲仁科町長に受賞を報告する団長(右)

親子でふれあい運動  
おおきくなっておめでとう



▲かけっこでマットに飛び込む子どもたち

2月15日、子育て交流センターと文化のプラザで「大きくなっておめでとう！」が行われ、0歳～小学6年生までの親子112組297人が参加しました。

きのいい羊達の皆さんと一緒に親子で元気よくからだを動かしながら一日楽しく過ごしました。高い所からジャンプすることに初めは怖がっていた子も何度か挑戦していくうちにできるようになったり、年下の子の面倒をみたりするなど、子供たちの成長がみられ、大人も子どももたくさんの笑顔であふれました。

町内幼少中7教諭を表彰  
教育奨励賞授与式

1月21日、函南町役場で「2019年度函南町教育奨励賞」授与式が行われました。

同賞は、町内の幼稚園、小・中学校の教諭の研究意欲と資質の向上を目的に行われ、授与式には教育委員や教育奨励賞検討委員など32人が出席しました。

賞状・記念品の授与の後、受賞者らがこれまでの教育実践のまとめとして、それぞれの研究概要と成果および課題を発表しました。

山邊教育長は受賞者に「さまざまな教育課題を自分なりの視点で実践している。今後も研さんを高め、素晴らしい教員として成長し、学校全体の教育活動も盛り上がることを期待しています」と祝辞を述べました。



▲表彰を受ける受賞者

函南町都市交流協会  
スマイルパーティーで異文化交流



▲ゲームなどで異文化交流を楽しみました

2月2日、保健福祉センターで函南町都市交流協会主催による「スマイルパーティー」が開催されました。

同イベントは外国人と親睦を深め、異文化交流を図ることを目的に毎年行われており今年で21回目の開催となりました。

町内外からの外国人（アメリカ、インドネシア、カナダ、ジャマイカなど）を含む約80人が参加し、食事やゲームなどを楽しみ交流を深めました。

また、ハンドベル演奏や歌などのパフォーマンスも披露され、会場を盛り上げました。